

【院内がん登録集計】

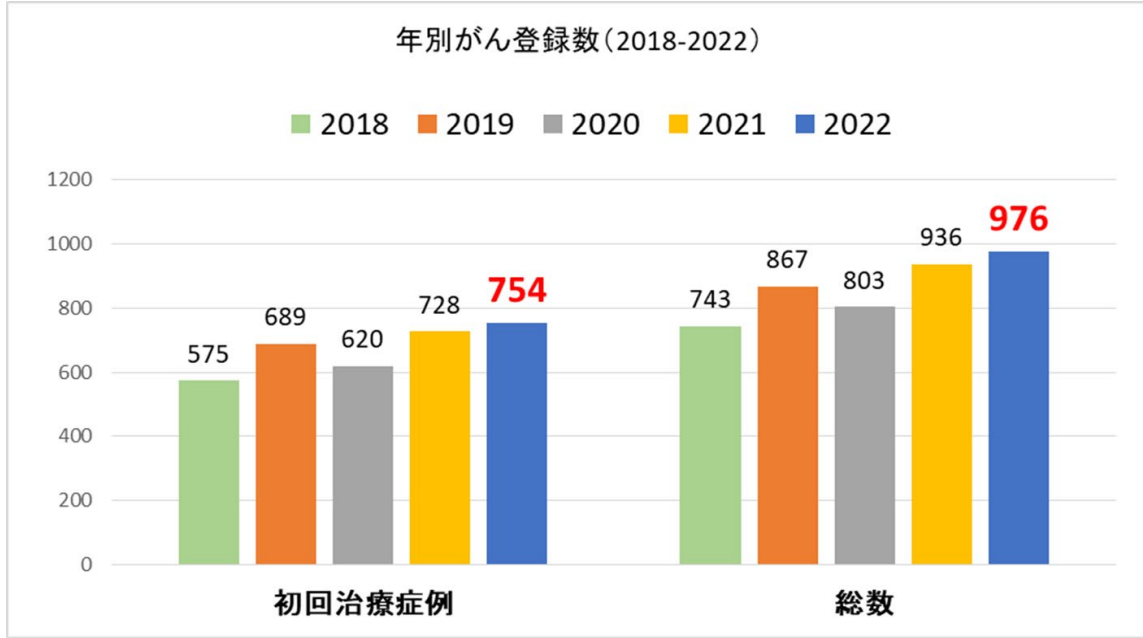
院内がん登録の対象となる症例は、入院・外来を問わず、当院に初めて受診し、がんと診断および治療対象となった症例です。1腫瘍1登録とし、重複がんの場合は原発の数をそれぞれ登録します。転移・再発の場合でも、当院に初めての受診であれば登録対象となります。

1、年別がん登録数

がん登録の件数を年別で表わしたグラフです。登録件数は増加傾向にあります。

総数・・・院内がん登録の対象となった全件数

初回治療症例・・・当該腫瘍に対して初めて治療を開始(継続を含む)した症例 ※再発・転移は除く

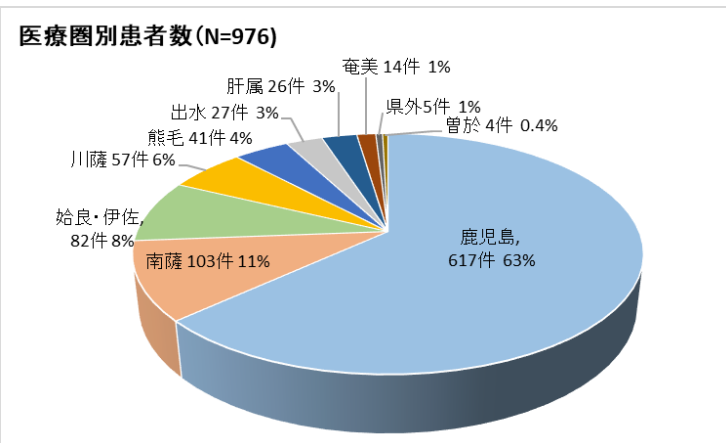


2、医療圏別患者割合(2022年症例)

患者さんがどの地域から来院したかを表わしたグラフです。

約6割が鹿児島医療圏からの受診で、

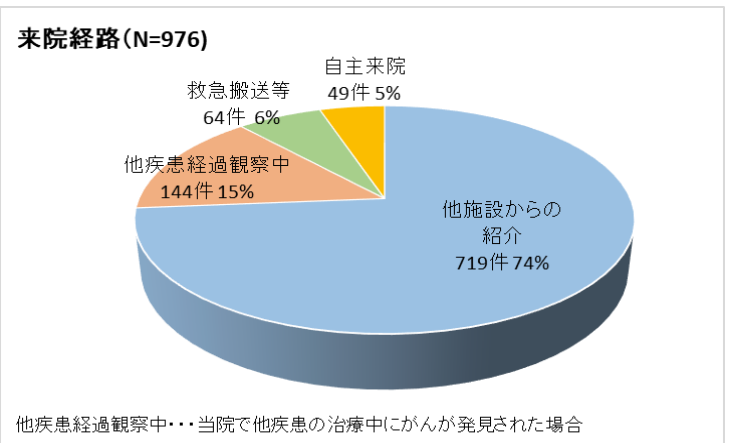
種子島、屋久島、奄美など離島からの患者さんも受け入れています。



3、来院経路割合(2022年症例)

患者さんがどのような経路で当院を受診したかを表わしています

7割が他の医療機関からの紹介で当院を受診しています。



4、部位別登録数(2018-2022年 初回治療症例)

初回治療の対象となった登録部位を診断年ごとに表わしたグラフです。

2022年は、肺癌の登録数が最も多く、次に前立腺、大腸、造血器となっています。その他、様々ながんの治療を行っています。

部位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
肺	146	164	135	170	174
前立腺	71	105	77	75	106
大腸	71	89	77	100	94
造血器	56	53	73	60	72
膀胱	34	64	45	44	58
腎・その他尿路系	37	45	37	37	51
胃	29	40	41	58	39
食道	18	14	15	28	20
口腔・咽頭	2	0	7	27	19
膵臓	17	20	16	10	15
乳房	16	10	16	27	15
皮膚	6	13	9	10	11
子宮頸部	17	13	8	9	11
胆嚢・胆管	13	14	11	6	9
脳・中枢神経	2	3	1	7	9
肝臓	10	7	11	13	8
甲状腺	2	1	4	7	8
子宮体部	5	10	5	4	7
喉頭	0	0	3	8	5
卵巣	6	5	9	5	3
骨・軟部組織	2	0	0	3	2
その他	15	19	20	20	18
総計	575	689	620	728	754

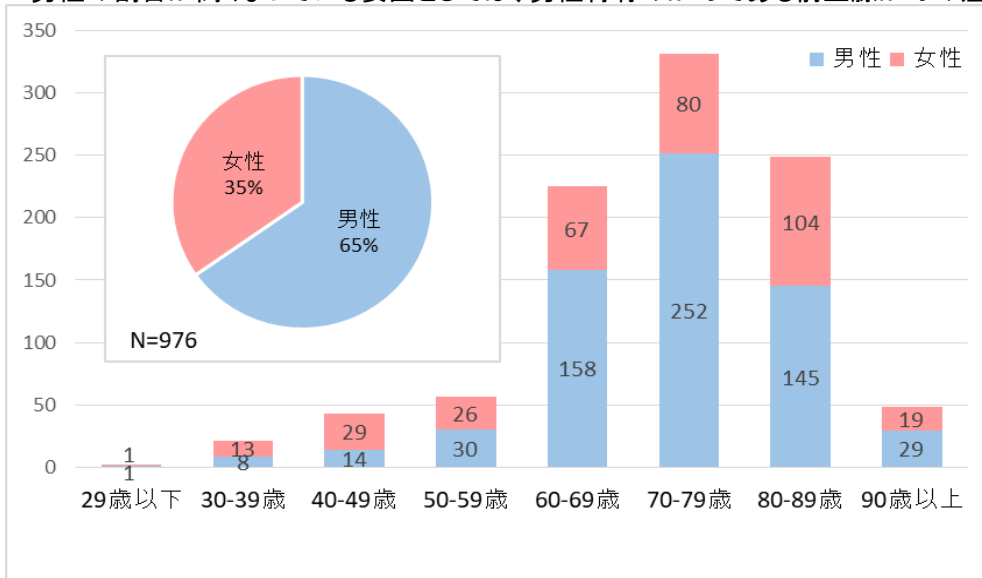
※その他:原発不明、悪性中皮腫、小腸、十二指腸、精巣等登録件数が少ない部位含む。

5、性別・年齢別患者数(2022年症例)

患者さんの年齢別・性別の件数と割合を表わしています。

全体でみると70歳代が最も多く、男女比は6割が男性となっています。

男性の割合が高くなっている要因としては、男性特有のがんである前立腺がんの症例が多いことが考えられます。



8、ステージ別治療内容割合（2022年初回治療症例：754件）

ステージ別で実施した治療内容を表わしたグラフです。比較的早期のがんは手術・内視鏡のみでの治療が多くを占めますが、進行がんになると、手術の割合（適応）は少なく、薬物療法や放射線療法、治療なし（経過観察）の症例が増えていることがわかります。

【がんの進行度】

- 0期 がん細胞が粘膜内(上皮細胞内)にとどまっており、リンパ節に転移していない
- I期 がんの腫瘍が少し広がっているが筋肉の層までとどまっており、リンパ節に転移していない
- II期 リンパ節には転移していないが、筋肉の層を超えて少し浸潤(広がること)している
または、がんの腫瘍は広がっていないが、リンパ節に少し転移している
- III期 がんの腫瘍が浸潤し、リンパ節転移もみられる
- IV期 がんが始めにできた原発部位を越えて、離れた他の臓器へ転移している

